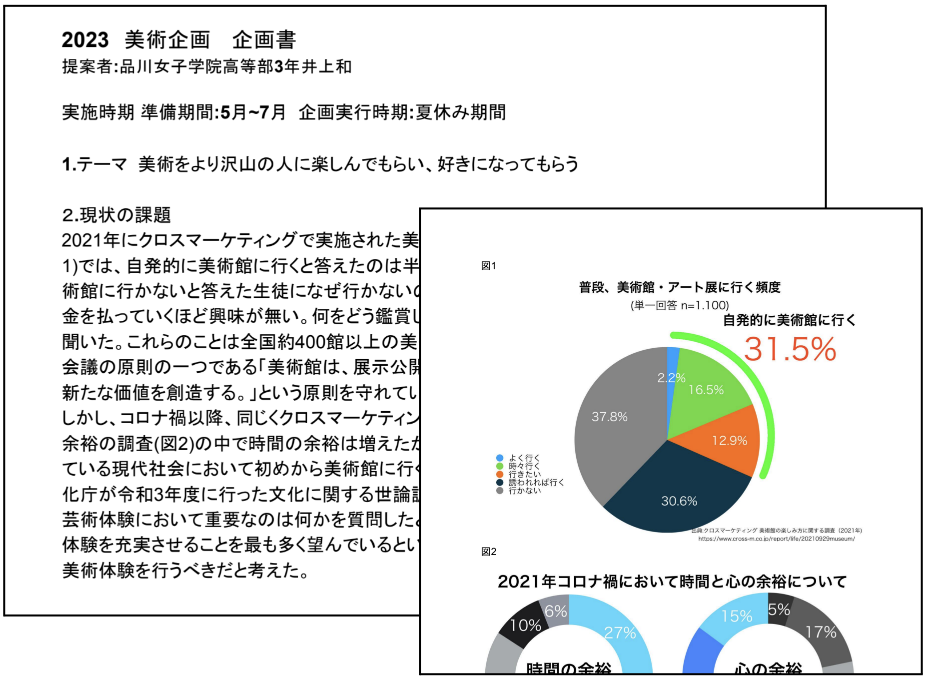
特別講座　現代アートを楽しもう

寺田倉庫株式会社のみなさまにご協力いただき、生徒がガイドを務める鑑賞会を行いました。

実施日　2023.08.18
展覧会　WHAT CAFE EXHIBITION vol.27
会場　WHAT CAFE

この特別講座はひとりの6年生の思いから実現しました。
昨年度取り組んだ個人探究がきっかけでした。
「美術をよりたくさんの人に楽しんでもらい、好きになってもらう」をテーマに探求し、その後解決策の実行と検証をしたいと考えて企画書をお送りしたところ、寺田倉庫のみなさまにご協力いただけるという幸運に恵まれました。

美術が大好きで、武蔵野美術大学での特別講座にも参加した井上和さんは、自分以外の人が美術の展覧会に足を運ばないことがもったいないと感じていました。
寺田倉庫のみなさまにご相談したところ、ひとつの解決策として生徒がガイドする鑑賞会をご提案いただき、サポートしてくださることになったのです。



2023　美術企画　企画書
提案者:品川女子学院高等部3年井上和

実施時期 準備期間:5月~7月　企画実行時期:夏休み期間

1.テーマ　美術をより沢山の人に楽しんでもらい、好きになってもらう

2.現状の課題
2021年にクロスマーケティングで実施された美
1)では、自発的に美術館に行くと答えたのは半
術館に行かないと答えた生徒になぜ行かないの
金を払っていくほど興味が無い。何をどう鑑賞し
聞いた。これらのことは全国約400館以上の美
会議の原則の一つである「美術館は、展示公開
新たな価値を創造する。」という原則を守れてい
しかし、コロナ禍以降、同じくクロスマーケティン
余裕の調査(図2)の中で時間の余裕は増えたが
ている現代社会において初めから美術館に行く
化庁が令和3年度に行った文化に関する世論調
芸術体験において重要なのは何かを質問した
体験を充実させることを最も多く望んでいるとい
美術体験を行うべきだと考えた。

打ち合わせの後日、井上さんが展覧会場でガイドのポイントをアドバイスしていただきました。
事前に音声ガイドや作家のSNSなどで情報を集めておき、鑑賞者の方と対話して興味を引き出しながら表現技法やテーマなどを伝えていくということで、デモンストレーションしていただくと自分ひとりで鑑賞するより豊かな時間となることがよくわかりました。

ガイド役をSlackで募集したところ、5年生2名と4年生1名が立候補してくれました。
井上さんからガイド役に事前準備について伝えて当日を迎えました。
鑑賞者は生徒・保護者の方・教職員にSlackで募集案内をし、13名の方が参加してくださいました。

ガイド役は鑑賞者より30分早く会場に集まり、リハーサルをしました。

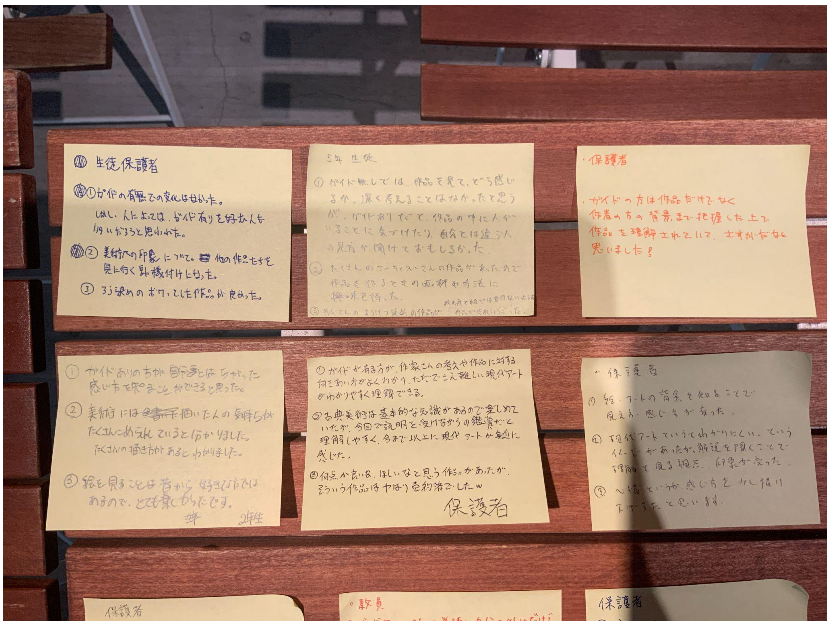
初めは緊張して情報を読み上げるだけになってしまうガイドもいましたが、プロのみなさまから温かいアドバイスを受け、楽しく対話しながらガイドできるようになっていきました。

井上さんはガイドの補佐役として臨み、なんと100点以上もある作品の情報をすべて頭に入れていました。

そして、開場。
いらした方からまずはガイド無しで自由に鑑賞していただきました。

その後お集まりいただき、ガイドの自己紹介と本日の趣旨説明。

ガイドは各自ひとりの作家を選び、その作品の前に立って、鑑賞者の方がいらしたときに対話型鑑賞をおこないました。



鑑賞者の方には最後にアンケートに答えていただきました。
仮説検証の材料となります。

お礼を述べて鑑賞会は終了しました。
次回は学校に寺田倉庫のみなさまにお越しいただき、ふりかえりと今後につなげるお話をする予定です。
井上さんのチャレンジは続きます。